



予算特別委員会

付託された案件は提案どおり可決されました

6年度一般会計予算

一般会計の予算編成にあたっては、歳出面では、大川の駅整備事業の本格的な着手並びに庁舎大規模改修工事等により、全体として普通建設事業費が増加し、また、賃上げや物価高騰の影響、子ども子育て関連の制度改正などにより、物件費や扶助費などの増加が見込まれます。歳入面では国の定額減税による市民税の減少、固定資産税の評価替えなどを要因に、市税全体としては6・6パーセントの減となっているが、定額減税による減収額約1億5千万円は国が補う仕組みとなっており、これを含めると、実質的には2・7パーセントの減となっています。地方交付税については、1・4パーセントの増加が見込まれているが、基金繰入金も増加しており、7年度以降の地方交付税の動向も含め、一般財源収入が今後大きく伸びていくことはあまり期待できない状況

大川リビルディング事業費について

問 大川リビルディング事業実行委員会等委員謝礼の内容は。

答 委員は実行委員会が12名で、その下に、市場開拓ワーキンググループ11名、藩境のまちワーキンググループ17名、食ブランドワーキンググループ15名、リバーサイドワーキンググループ8名となっています。5年度からの国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、来年度は2年目を迎えます。

問 リバーサイド観光活性化事業委託料の内容は。

答 今年度1月に開催したスカイランタンフェスティバルのような

にあります。このため、財政の健全性の確保に留意しつつ、限られた財源の効率的かつ重点的な配分に努めた結果、一般会計の予算規模は190億2千万円となり、前年度当初予算との対比では、6・7パーセントの増です。予算特別委員会の審査の過程では各款にわたり、多くの質疑、意見等が交わされました。

(主な質疑・意見等)

産婦健康診査費助成金等について

問 産婦健康診査事業と産後ケア事業、アシスト訪問家事支援事業等をどのように連動させるのか。

答 産婦健診については、産後うつ予防等の観点から、産後2週間目と1か月目に心身の回復度の検査を受けていただいています。産後ケア事業については、産後の大変な時期を乗り切っていただくため、休息や相談事業を利用していただく事業です。そのような事業を利用する中で、更なる支援が必要になってきた場合に、アシスト事業につなげて、家事や赤ちゃんの沐浴の手伝いなどを行うことで産婦の負担軽減を図っていくことを考えています。

議決結果一覧

「○」・・・賛成 「●」・・・反対 「―」・・・欠席

※議長は可否同数の場合以外は表決に参加しません

付託委員会	2月臨時会及び 3月定例会に付された案件 ※表決が分かれたり、退席があった 案件のみ記載しています。	議決結果	議長	総務委員会				文教厚生委員会				産業建設委員会				
			遠藤博昭	永島守	宮崎稔子	永島幸夫	永尾学	平木一朗	箆島かおる	龍誠一	西田学	宮崎貴仁	川野栄美子	馬淵清博	内藤栄治	古賀寿典
2月臨時会																
総務	議案第4号 令和5年度大川市一般会計補正予算	可決		○	○	●	○	○	—	●	●	○	○	○	●	○
3月定例会																
総務	議案第6号 大川市特別職の職員の報酬及び費用 弁償に関する条例の一部改正	可決		○	○	○	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○
	議案第7号 大川市市長、副市長及び教育長給与 等に関する条例の一部改正	可決		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○
	議案第14号 令和5年度大川市一般会計補正予算	可決		○	○	●	○	○	—	○	●	○	○	○	○	○
予算別	議案第15号 令和6年度大川市一般会計予算	可決		○	○	●	○	○	—	●	●	○	○	○	●	○
	議案第22号 大川市監査委員の選任	同意		○	○	○	○	○	—	●	○	○	○	○	●	○
	議案第25号 遠藤博昭君に対する議長不信任決議	否決		●	●	○	●	●	—	○	○	●	●	●	○	
議会改革	議案第26号 大川市議会議員定数条例の一部改正	可決		○	○	●	○	○	—	●	●	○	○	●	●	○

※議長不信任決議については、遠藤議長除斥（じょせき）のため、古賀副議長が議長として採決を行いました。

反対 討論	【議案第4号】 ・「大川の駅」事業は、予算がどこまで膨らむか心配であり、事業の中身について説明不足である。 ・予定されている公募の前に、一度立ち止まり、市民の意見を聞く必要がある。
賛成 討論	・大川の将来を担う子どもたちのためにも、スピード感を持って着実に事業が遂行されることを望む。 ・国県の各種交付金を可能な限りいただくとのことで、市長も大川市のことを考えて努力されている。反対される方の声も聞くが、話をしていけば、皆さん最終的には喜ばれるような方向に行くと思う。
反対 討論	【議案第15号】 ・住民投票、市民アンケートを行い、広く住民の方に説明会を行ってほしい。 ・予算の中に大川の駅整備振興費6億846万7千円を含んでいる。「大川の駅」整備は市の財政を圧迫する。
賛成 討論	・4月1日から直接市民サービスに関わってくる予算に対し、単に反対するのではなく、反対に当たっては修正案を提出するべきである。・予算特別委員会では、歳出、歳入ともにいろいろと質問したが、個々の事業内容等について詳しく答弁をもらい、交付金や基金等もしっかりと活用が予定されており、現状を踏まえた上での的確な予算である。
弁明	【議案第25号】 ・私は5年5月に議長に選任されて以来、公平で民主的な議事運営を行ってきたと自負しています。今後も民主的に、できるだけ議会がスムーズに運ばれるように努力してまいります。
反対 討論	・1. 発言通告については、きちんと市議会で討論できるようにすべきことで、同じ質問が何回も重ならないように、議長はしっかり仕事をされている。2. 市議会ではしっかり議事録を取らないといけなため、不穏当発言などに対しては、休憩を取り、事務局等と打合せの上、協議することが必要である。3. 議長の仕事は、この議場を仕切ることで、議場における正規の発言は全て議長の許可を得て、そのルールにのっとり、発言すべきものである。
賛成 討論	・1. 通告外や同じ質問を理由に質問させないようにする。2. 些細な事でも休憩に入り、しかも質問者にロス分の時間も与えない等、質問者の意見を聞かず、自分の意見を押し付ける。3. 議会は討論の場であり、議長の使命は公平で民主的な進行を行うことにある。しかし、遠藤議長の采配は明らかに偏っており、議長の資格なしと判断する。
反対 討論	【議案第26号】 ・新しく若い人たちが立候補しにくい状態になる。・今後も議会改革調査特別委員会で、議論、検討すべきだと考える。 ・市民からの要望、意見はたくさんある。今後、議員がいらない校区が発生することを皆さん心配されている。
賛成 討論	・議会改革調査特別委員会において、議員報酬の見直しを検討し、大川市特別職報酬等審議会への諮問に対する答申では、附帯意見として議員定数の適正化の取組が要望されている。議会改革調査特別委員会において、賛成、反対の意見を交わし、本市ではこの12名が適した議員定数であると結果を出したため、その部分に関し賛成する。

※紙面の都合上、すべての討論内容を掲載できないため、インターネット録画中継もご覧ください。